Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第74回（7/15）　宮﨑美砂子先生推薦　ブックガイド

※掲載されている本はN棟3階ブックツリーのテーマ展示コーナーに配架されます。

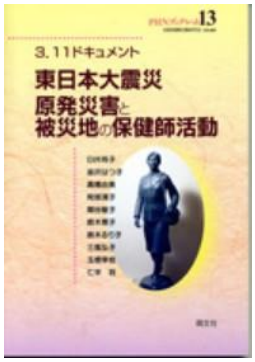
Book1

災害時の公衆衛生：私たちにできること

編者：國井修　ほか　出版社：南山堂
コメント：災害医療という言葉はよく耳にしますが、災害公衆衛生という言葉は私たちにとってまだ馴染みのないものです。
本著は、“人びとの生（いのち、生活、健康）を公共的な仕組みや体制づくりを通して衛（まも）る”立場にある公衆衛生の観点から、災害対応についてこれまでの実践経験から得られた教訓・知見を整理した画期的なテキストです。

Book2

東日本大震災原発災害と被災地の保健師活動：3.11ドキュメント



著者：臼井玲子　ほか　出版社：萌文社
コメント：東日本大震災の被災地の保健師による活動記録です。
自らも被災し、家や職場を失い、仲間を津波で失うという状況の中で、保健師（自治体に雇用されている看護専門職）は、どのように住民の生命をまもるために日夜奮闘したのか。
医療の文脈とは異なる、自治体職員としての保健師ゆえの苦悩・葛藤なども含めて描かれた貴重な活動記録です。
これらの経験から私たちは次の災害に備えるために学びと教訓を得る必要があります。

Book3

12歳からの被災者学：阪神・淡路大震災に学ぶ78の知恵

編著者：メモリアル・コンファレンス・イン神戸
出版社：日本放送出版協会
コメント：世界の地震の10分の1が日本で起こっています。
「食事はどうなるの？」「水はどうしたら受け取れるの？」「トイレはどうするの？」など、災害時に次々に私たちに襲いかかる日常問題に対して、たいへん分かり易く解説しています。
「正しい被災者になるための入門書」であり、生きる力を身に付けるための「被災者学」の本です。ぜひ手に取ってみてください。